

各 位

会 社 名 株式会社ホロン
 代表者名 代表取締役社長 穴澤 紀道
 (J A S D A Q ・ コード 7748)
 問合せ先 取締役総務部長 加藤 邦彦
 電話 03-3341-6431

平成 20 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想について、平成19年11月22日付当社「平成20年3月期中間決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

(1) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日) (単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想(A)	1,100	13	13	△ 57
今回修正(B)	300	△ 318	△ 318	△ 378
増減額(B-A)	△ 800	△ 331	△ 331	△ 321
増 減 率	△ 72.7%	—	—	—

(2) 修正理由

当社はマスク上の半導体の回路寸法を電子ビームによって測定する装置を開発・製造・販売を業務としておりますが、フォトマスク用 CD-SEM 市場は、測定対象が 65-45nm ノードから 45-32nm ノードへ移りつつある端境期が長期化の様相を呈し、顧客各社は 65nm ノードの量産体制のまま推移し 45nm ノード以降の開発が抑えられ、設備投資予算実行は先送りされる状況であります。そのため当社主力製品であるマスク用寸法測定装置「EMU」は、45-32nm ノード対応の要求を受けて開発してまいりましたが、顧客の設備計画変更等により当初計画いたしました複数の商談が成立いたしませんでした。マスク用寸法測定装置 1 台あたりの販売価格は、顧客の要求するオプションにより異なりますが、約 2～3 億円と非常に高額なことから、この商談の不成立が今回の大幅な減額修正に繋がりました。

また、新事業領域へ進出した LED(発光ダイオード)生産用パターン転写装置である電子スタンパー「EBLITHO」につきましては、その有効性を証明するには未だ時間を要し、顧客は開発試作及び量産への前段階にあるため、設備投資予算の実行は順延または保留している状況で当社の今期の受注獲得は見込めないと判断いたしました。

当社は有価証券報告書の「事業等のリスク」において、フォトマスク市場の動向及び顧客の設備投資について、市場動向の変動や顧客の設備投資の動向によって当社の財務状態及び経営成績は影響を受ける可能性がある旨を記載させて頂いておりますが、残念ながら回避に至らず上記の結果となってしまいました。この影響を最小限に止めるべく、第三者割当増資による資金面での強化及び他社との共同開発を視野に入れた新市場の開拓を進めております。今後の対策

としまして、現在保有する技術の応用や改良によって新製品の開発に努め、製品のラインアップの充実を図ることにより、フォトマスク市場への依存の軽減を考えております。具体的な政策につきましては、決定次第改めてお知らせいたします。

通期業績の予想数値に関しまして、受注減少の状況のなかで原価率の改善や経費削減に努めておりますが、上記の理由により売上、損益ともに大幅な減額修正となり売上高 300 百万円、営業損失 318 百万円、経常損失 318 百万円に修正いたします。また、当期における業績結果に対する責任を明確にするため、役員退職慰労引当金の全額 136 百万円を取崩し、149 百万円を特別利益として計上する予定でありますが、平成 19 年 11 月 21 日付「特別損失の発生並びに平成 20 年 3 月期中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり減損損失 206 百万円を計上したため、当期純損失につきまして 378 百万円に修正させていただきます。

(3) 現状認識と対応

当社は売上高の減少により 2 期連続して、また、今期につきましても厳しい経営環境が続いております。当社は平成 19 年 12 月 11 日に公表しました「代表者の異動に関するお知らせ」のとおり社長交代をもって、経営成績不振の責任を明確にして経営体制の早急な立て直しを図り、今後の新規事業開発等積極的な事業戦略の遂行を進めているところでございます。

また、当面の事業活動の停滞を未然に回避するための運転資金として、平成 19 年 12 月 17 日付「株式会社エー・アンド・デイに対する第三者割当増資に関する基本合意書締結についてのお知らせ」のとおり平成 20 年 3 月末を目処に実施総額 2 億円相当の増資を予定しております。詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

(4) ご参考：前期の実績（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期（18/4～19/3）	566	△400	△396	△398

※ 上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上